



震災復興と学校建築

港区文化芸術振興基金助成事業「港区の学校建築再発見」公開講座

2012年2月5日 [日] 14時—17時 [13時半開場]
慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎 517教室 入場無料 事前申込み不要

関東大震災(1923年)後に建てられた「復興建築」をご存知でしょうか。関東大震災からの復興を目指し、東京市(当時)は大規模な都市再生計画を実行しました。この時期に建造された建築物は「復興建築」と呼ばれ、その堅牢な構造から、現在も使用されている事例が少なくありません。この公開講座では、復興建築のなかでも特に港区内に現存する学校建築に着目します。子どもたちの教育のために安全な空間を目指して建造された復興小学校、創設以来、修学の場として学生たちを迎え入れてきた慶應義塾大学三田キャンパスのグランド・デザインについて、それぞれ専門家をお招きしてご講演いただきます。講演の後には講師を交えてのディスカッションも行われます。この講座が、震災後を生きる現在の私たちにとって、震災復興と学びの場について考えるひとつの機会となれば幸いです。



公開講座 震災復興と学校建築

プログラム

はじめに「大学の建築プロジェクト 活動紹介」

橋本 まゆ (慶應義塾大学アート・センター／大学の建築プロジェクト)

講演「関東大震災後の帝都復興計画と復興小学校」

松葉 一清 氏 (武蔵野美術大学教授)

講演「慶應義塾と関東大震災」

都倉 武之 氏 (慶應義塾福澤研究センター准教授)

ディスカッションと質疑応答

モデレータ: 後藤 文子 (慶應義塾大学文学部准教授、大学の建築プロジェクト代表)

都倉 武之 (とくら・たけゆき)

1979 年生まれ。2002 年慶應義塾大学法学部政治学科卒業。同大学院法学研究科修士課程、同博士課程、武蔵野学院大学専任講師を経て、2007 年慶應義塾福澤研究センター専任講師、2011 年より現職。専門は近代日本政治史・政治思想史。慶應義塾創立 150 年記念出版『慶應義塾史事典』『福沢諭吉事典』の編集委員を務めた。

松葉 一清 (まつば・かずきよ)

1953 年神戸市生まれ。京都大学建築学科卒。1976 年、朝日新聞社入社、特別編集委員を経て 2008 年から武蔵野美術大学教授。建築界におけるポスト・モダン論を主導。主な著書に『帝都復興せり!』『パリの奇跡』『失楽園都市』『日本のポスト・モダニズム』『近代主義を超えて』など、監修書に『太陽の地図帖～復興建築の東京地図』がある。月刊『東京人』に「歌え! 啞蟬坊～デモクラシーの帝都」を連載中。「近代都市と芸術展」「ジャン・ヌーベル展」など展覧会の監修・コーディネーターも手がける。

後藤 文子 (ごとう・ふみこ)

慶應義塾大学文学研究科修了。東京国立博物館、宮城県美術館勤務を経て、2009 年より現職。主として 19～20 世紀ドイツ美術・建築を研究。著書に『朝日美術館パウル・クレー』(共著、朝日新聞社、1995 年)、H・デュヒティング『パウル・クレー 絵画と音楽』(訳書、岩波書店、2009 年)ほか。

INFO

慶應義塾大学アート・センター内
大学の建築プロジェクト

〒108-8345
東京都港区三田 2-15-45
Tel 03-5427-1621
Fax 03-5427-1620
hsmt@art-c.keio.ac.jp



[アクセス] JR 田町駅・都営地下鉄三田駅などから徒歩 8 分